

令和2年度ベンチマーク部会のキックオフミーティング議事要旨

日 時：令和2年11月9日（月） 11：00 ～ 12：05

場 所：zoom 会議

出席者：井岡亜希子（まるレディースクリニック院長）、伊藤ゆり（大阪医科大学研究支援センター医療統計室室長・准教授）、埴岡健一（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授）、東尚弘（国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター長）、平田哲生（琉球大学病院診療情報管理センター長・特命教授）、伊佐奈々（琉球大学病院がんセンター・診療情報管理士）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター長） 合計7名

陪席者：有賀拓郎（琉球大学病院診療情報管理センター副センター長） 合計1名

欠席者：天野慎介（全国がん患者団体連合会理事長） 合計1名

会議の最初に委員の自己紹介があった。

【報 告】

1. 部会委員一覧（資料1）

増田委員より、資料1に基づき、ベンチマーク部会委員および参加者の確認が行われた。

2. 第3次沖縄県がん対策推進計画について（資料2）

増田委員より、資料2に基づき、第3次沖縄県がん対策推進計画について概要を説明された。

3. 沖縄県がん診療連携協議会の各専門部会が担当する分野について（資料3）

増田委員より、資料3に基づき、沖縄県がん診療連携協議会の各専門部会が担当する分野について沖縄県の状況を説明された。

4. 令和2年度沖縄県がん診療連携協議会第1～3回議事次第（資料4）

増田委員より、資料4に基づき、令和2年度沖縄県がん診療連携協議会第1～3回議事次第について沖縄県がどういふ状況か説明された。

5. その他

【審議事項】

1. 部会のミッションとビジョンについて

増田委員より、本部会のミッションとビジョン案について説明があった。

井岡委員より、ミッションに記載されている「がん医療」は、医療のみで予防や検診を含まないように見えるため「がん対策」としてはどうかとの意見があり、提案通り承認された。

埴岡委員より、ミッションとビジョンに紐づけて必要な作業の把握し、具体的に何をするかをわかりやすくするため、分野別に最終アウトカム、中間アウトカム、アクションを図式化する必要があるとの意見があり、前述の方針で作成することが承認された。

2. 今年度の部会で行う事項について

増田委員より、今年度の部会で行う事項案について説明があった。

東委員より、がん登録以外にもあらゆるデータはあるが、全で一長一短ある現状である。沖縄のがん医療で何が問題と現場が思っているかを明らかに、それを検証できるデータを集めるのはどうかとの意見があった。現場の問題意識を収集することについても検討していくことになった。また、本部会への県庁の協力について質問があった。増田委員より、県にも本部会に入っていただき進めていきたいとの返答があった。

伊藤委員より、ベンチマークしていく上で院内以外の外部の人のデータの利用可能性について質問があった。平田委員より、まずは技術的にできるかどうか検討して行く旨の回答があった。

埴岡委員より、進捗を見るため必要ながん登録集計値や患者体験調査結果などは沖縄県にリクエストする準備も進めておく必要があるとの意見があり、準備を進めることとなった。

3. その他